

平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月13日

上場会社名 株式会社 東北新社

上場取引所 大

コード番号 2329 URL <http://www.tfc.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村 徹

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 財務・経理統括部長 (氏名) 渡辺 繁和

TEL 03-5414-0211

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	43,783	△2.4	5,899	2.9	6,141	△0.3	3,237	△11.5
24年3月期第3四半期	44,839	3.0	5,732	46.3	6,157	46.4	3,657	53.4

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 3,618百万円 (2.4%) 24年3月期第3四半期 3,531百万円 (103.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	72.04	—
24年3月期第3四半期	81.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	103,345	57,294	54.8
24年3月期	99,559	54,310	53.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 56,659百万円 24年3月期 53,695百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
25年3月期	—	0.00	—		
25年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,107	△2.4	6,366	3.2	6,700	2.4	3,664	9.3	81.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細については、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	46,735,334 株	24年3月期	46,735,334 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	1,786,723 株	24年3月期	1,786,690 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	44,948,634 株	24年3月期3Q	44,948,672 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高43,783百万円(前年同期比2.4%減)、営業利益5,899百万円(前年同期比2.9%増)、経常利益6,141百万円(前年同期比0.3%減)と全体としては概ね堅調に推移しましたが、第2四半期以前に特別損失として投資有価証券評価損等を計上したため、四半期純利益は3,237百万円(前年同期比11.5%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 制作関連事業

制作関連事業の売上高は、前年同期に比べ1.6%減の24,675百万円となり、営業利益は前年同期に比べ0.6%減の4,608百万円となりました。CM制作部門は、受注が堅調に推移しており増収増益となりましたが、ポストプロダクション部門は、CG関連の受注が前年同期を下回り減収減益となりました。

② 放送関連事業

放送関連事業の売上高は、前年同期に比べ2.2%増の10,300百万円となり、営業利益は前年同期に比べ22.4%減の2,169百万円となりました。当社関連チャンネルの加入世帯数が増加したことと、放送番組等の制作受注が伸びたため増収となりました。利益面では、期初予想通り、前年同期と比べ減益となりました。当社関連チャンネルのスカパー新帯域(東経110度)での放送開始やHD化に係る費用の増加に加え、CS放送向け番組販売が好調であった前年同期と比べ減少したことによるものです。

③ 映像関連事業

映像関連事業の売上高は、前年同期に比べ10.7%減の7,503百万円となり、営業利益は594百万円(前年同期は501百万円の損失)となりました。テレビ配給部門の売上高は前年同期を下回りましたが、収益性が改善し営業損失は縮小しました。ライセンス部門は、キャラクターライセンス販売が順調に推移しておりますが、販売が集中した前年同期に比べ減収となりました。利益面では、劇場公開映画の償却負担が前年同期と比べ減少したため増益となりました。

④ 物販事業

物販事業の売上高は、前年同期に比べ8.7%増の5,096百万円となり、営業損失は51百万円(前年同期は111百万円の利益)となりました。業務用映像機材等の販売が伸びたため増収となりましたが、ナショナル麻布スーパーマーケット本店ビル建て替えに伴う休業の影響により営業損失となりました。

(注)上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産の残高は、103,345百万円であり、前連結会計年度末に比べ3,786百万円増加いたしました。この主な要因は、現金及び預金の増加6,706百万円、受取手形及び売掛金の減少3,564百万円、映像使用権の減少440百万円及び仕掛品の増加427百万円等であります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、46,051百万円であり、前連結会計年度末に比べ802百万円増加いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少3,477百万円、短期借入金の増加2,300百万円、前受金の増加1,033百万円及び繰延税金負債の増加700百万円等であります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、57,294百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,983百万円増加いたしました。この主な要因は、配当金の支払629百万円の方で、四半期純利益の計上3,237百万円による利益剰余金の増加2,608百万円等であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成24年5月18日発表の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	35,781,329	42,487,839
受取手形及び売掛金	18,813,016	15,249,000
有価証券	528,123	590,700
映像使用権	6,968,240	6,527,492
仕掛品	2,907,000	3,334,580
その他のたな卸資産	536,401	447,291
その他	5,383,768	5,633,484
貸倒引当金	△12,058	△12,339
流動資産合計	70,905,821	74,258,051
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,063,020	13,062,668
その他(純額)	7,303,544	7,559,584
有形固定資産合計	20,366,565	20,622,252
無形固定資産		
のれん	914,341	820,090
その他	213,195	189,648
無形固定資産合計	1,127,537	1,009,739
投資その他の資産		
投資有価証券	5,271,477	5,649,586
その他	2,110,053	2,035,525
貸倒引当金	△222,289	△229,534
投資その他の資産合計	7,159,241	7,455,577
固定資産合計	28,653,343	29,087,569
資産合計	99,559,165	103,345,620
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	19,667,714	16,190,224
短期借入金	17,560,000	19,860,000
未払法人税等	766,808	1,025,483
賞与引当金	626,731	297,872
その他	3,145,884	4,134,402
流動負債合計	41,767,138	41,507,983
固定負債		
退職給付引当金	600,986	626,279
役員退職慰労引当金	414,728	416,353
その他	2,465,882	3,500,889
固定負債合計	3,481,596	4,543,522

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債合計	45,248,735	46,051,505
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,487,183	2,487,183
資本剰余金	3,729,851	3,729,851
利益剰余金	51,365,753	53,974,428
自己株式	△1,728,054	△1,728,073
株主資本合計	55,854,733	58,463,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△143,780	224,192
繰延ヘッジ損益	5,412	—
為替換算調整勘定	△2,020,727	△2,027,952
その他の包括利益累計額合計	△2,159,095	△1,803,759
少数株主持分	614,793	634,485
純資産合計	54,310,430	57,294,114
負債純資産合計	99,559,165	103,345,620

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	44,839,997	43,783,554
売上原価	32,980,626	31,517,213
売上総利益	11,859,370	12,266,340
販売費及び一般管理費	6,126,902	6,367,221
営業利益	5,732,467	5,899,118
営業外収益		
受取利息	29,407	25,643
受取配当金	44,744	52,005
持分法による投資利益	396,256	196,026
経営指導料	102,661	102,161
その他	104,887	55,056
営業外収益合計	677,958	430,893
営業外費用		
支払利息	149,146	117,286
支払手数料	99,596	34,327
その他	4,668	37,166
営業外費用合計	253,411	188,779
経常利益	6,157,014	6,141,232
特別利益		
固定資産売却益	265	583
投資有価証券売却益	8,193	29,112
特別利益合計	8,458	29,696
特別損失		
固定資産除却損	42,460	23,748
減損損失	50,857	—
投資有価証券売却損	2,064	178,638
投資有価証券評価損	—	361,365
特別退職金	41,010	—
その他	19,014	28,172
特別損失合計	155,407	591,925
税金等調整前四半期純利益	6,010,065	5,579,002
法人税等	2,245,524	2,316,113
少数株主損益調整前四半期純利益	3,764,541	3,262,889
少数株主利益	107,327	24,934
四半期純利益	3,657,214	3,237,955

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,764,541	3,262,889
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△55,469	367,973
繰延ヘッジ損益	67,263	△5,412
為替換算調整勘定	△237,887	△7,023
持分法適用会社に対する持分相当額	△6,605	△201
その他の包括利益合計	△232,698	355,336
四半期包括利益	3,531,842	3,618,225
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,424,515	3,593,291
少数株主に係る四半期包括利益	107,327	24,934

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制作関連 事業	放送関連 事業	映像関連 事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,671,056	9,457,803	7,498,070	4,056,131	44,683,062	156,934	44,839,997	—	44,839,997
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,405,184	616,628	908,656	633,830	3,564,300	61,209	3,625,510	△3,625,510	—
計	25,076,240	10,074,432	8,406,727	4,689,962	48,247,363	218,144	48,465,507	△3,625,510	44,839,997
セグメント利益又は損失 (△)	4,636,631	2,795,926	△501,796	111,527	7,042,289	70,766	7,113,055	△1,380,588	5,732,467

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,380,588千円には、セグメント間取引消去△16,420千円及び全社費用△1,364,168千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制作関連 事業	放送関連 事業	映像関連 事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	23,399,093	9,660,666	6,151,566	4,418,154	43,629,481	154,072	43,783,554	—	43,783,554
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,276,243	639,747	1,352,397	678,159	3,946,547	60,303	4,006,851	△4,006,851	—
計	24,675,337	10,300,413	7,503,963	5,096,314	47,576,029	214,376	47,790,405	△4,006,851	43,783,554
セグメント利益又は損失 (△)	4,608,494	2,169,464	594,722	△51,404	7,321,276	69,628	7,390,905	△1,491,786	5,899,118

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△1,491,786千円には、セグメント間取引消去△9,991千円及び全社費用△1,481,795千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。